



AI アドバイザーがあらゆる場面で全学生に個別最適なアドバイスを提供 日本初 大学独自アプリにマルチエージェント構成の AI アドバイザー機能を搭載

追手門学院大学（所在地：大阪府茨木市、学長：真銅正宏）は、大学公式アプリ「OIDAI アプリ」向けに、生成 AI を活用した新機能「AI アカデミックアドバイザー（仮称）」を新たに開発しました。

「OIDAI アプリ」の最新版となるバージョン 6.0 として、2026 年 3 月に正式にリリース予定です。

本機能は、日本で初めて大学独自アプリにマルチエージェント構成の学生向け AI アドバイザーを実装するもので、統合データベースと呼ばれる個々の学修データや行動データ、就職情報などを集約したデータベースを基盤に、生成 AI が学生一人ひとりに最適化された学修支援を提供します。

YouTube: [AI アカデミックアドバイザー（仮称）デモ動画](#)

AI アドバイザー機能は、大学の統合データベースに蓄積された学修情報や学内情報、学生の入力する学びやキャリアにおける興味・関心等をもとに、履修・資格取得・留学・就職活動、課外活動など、学生生活に関する様々な相談に対して個別最適なアドバイスを提供します。学生がバディエージェントに相談をすると、相談内容に応じて各領域に特化したエージェントが回答を生成します。

このマルチエージェント構成の仕組みは、従来の単一エージェントによる構成と比較して、正確性（精度の高い応答）、保守性（応答の改善のし易さ）、拡張性（新しい分野への拡張）の点で優れており、日本の大学における独自アプリへの採用・実装は初となります。また学生の CX を重視し、「Inspire」「Personalize」「Bridge」の 3 つを開発原理に掲げ、全てを本アドバイザー上で解決しようとするのではなく、学生の気づきや挑戦を促し、教職員による丁寧な支援を必要とする場面では、対人支援に適切に繋げていくことをめざした点も大きな特長です。

今後は、現在学内で利用されている α 版での試行を開始し、2025 年 12 月ごろ本番環境に近い β 版をリリースします。2026 年 3 月の正式リリースをめざし、学生・教職員へプレテストを行い、フィードバックをもとに精度の向上を図ってまいります。

【記事のポイント】

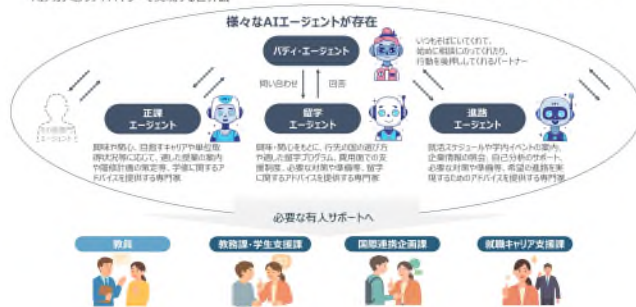
- 日本で初めて大学公式アプリにマルチエージェント構成の AI アドバイザーを開発・実装
- 大学の統合 DB の情報を基に、履修から就職、留学、正課外の活動等、大学生活の様々な場面で個別最適なアドバイスを提供
- 大学の教育理念を踏まえ、学生の主体的な行動を促し対人支援への接続を強化する開発を志向

アプリ UI/UX ※開発中の画面（2025年9月時点）



AI アカデミックアドバイザー（仮称）UI イメージ

追手門学院大学
AIマルチエージェントが、デジタルとリアルとの融合による、個別最適なアドバイスを実現する
AIアカデミックアドバイザーで実現する世界観



マルチエージェント AI のイメージ

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-665-9166 蛸原・織田

 AI アカデミックアドバイザー（仮）

一人ひとりに寄り添い

Guiding Principle 行動を後押しする/個別最適な選択肢を示す/繋いで実現する

**Inspire**
気づきを促し、一歩踏み出す勇気を与える

- 知的好奇心を刺激し、新たな学びやキャリアの可能性への気づきを与える
- 振り返りの実施とフィードバックを通じて、モチベーションの維持と自己肯定感の育成を支え、次なる挑戦を後押しする
- 学生が自身の強みや興味を深く理解し、主体的に学び、未来を切り開くための自律的な行動を促す

**Personalize**
あなただけの未来への道筋と一緒に見つけ出す

- 日々の対話や履修・行動履歴などのデータを活用した“データドリブン”な支援により、精度と個性の高い提案を実現する
- 一人ひとりの性格、関心、目標、悩み、スタイルに応じた提案を行う
- 「こうありたい」に寄り添い、一方的な正解ではなく、「その人にとっての最適解」の模索を支援する

**Bridge**
情報・人・機会・場へとつなぎ、未来の実現に導く

- AIは“答えを教える存在”ではなく、“つなぐ存在”へ
- 学生が必要とする多様な情報、リソース、機会、場そして人々との繋がりを効果的に生み出す
- 教職員とAIの協働による対面サポートなど、デジタルとリアルを橋渡ししていく存在に

AIアカデミックアドバイザー（仮称）のGuiding Principle（設計思想・行動方針）

1 履修登録

2 留学

3 就職活動

AIアドバイザーで変わる体験の例
：①「履修登録」での学生体験



履修登録の時期ですよ





履修について考え始める

- AIアドバイザーから履修登録のリマインドが届き、当該学期の履修について考え始める

AIアドバイザーに相談する

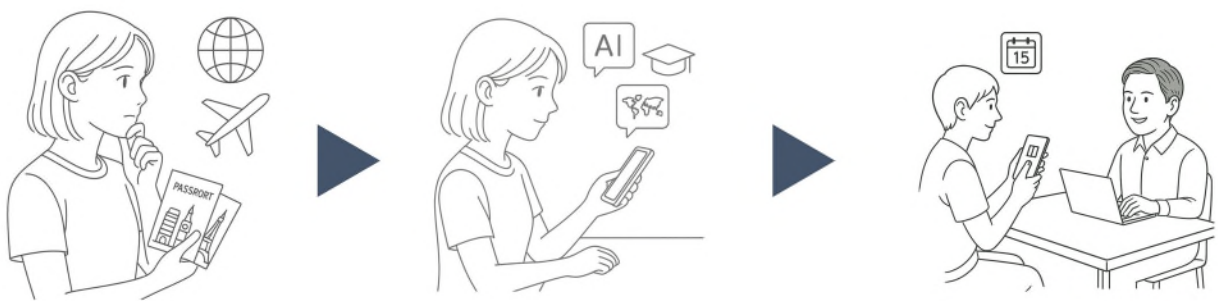
- 自分の所属する学部・学科の卒業要件やこれまでの履修状況等をAIアドバイザーに確認する
- 自分の興味・関心に応じて、どの授業を履修するべきか、考えを深める
- 将来希望するキャリアについても相談しながら、自己の強みや弱みを深掘りし、学修目標を明確にして履修計画を立てる

必要に応じて対面サポートを利用する

- より専門性の高いアカデミックアドバイスや履修に関する相談が必要な場合には、AIアドバイザーが教職員による対面サポートの利用を促す
- AIによる個別最適化されたアドバイスと、対人ならではのアドバイスを得て、さらなる目的意識を持って履修科目を登録し、学びを深めることができる

①「履修登録」での学生体験 / AIアドバイザーで変わる体験の例

AIアドバイザーで変わる体験の例
： ②「留学」での学生体験



留学について関心をもつ

- 留学を中心に在学中に海外経験を積んでみたいと思っているが、そのための選択肢や必要な準備について詳しくない

AIアドバイザーに相談する

- AIアドバイザーに相談し、将来の目標や世界で経験してみたいこと、渡航先の国や渡航期間、費用などを深掘りする
- 留学に関する学内の説明会スケジュールや奨学金制度について理解を深める
- 語学力に基準が設けられている場合は、自分の語学力をもとに対策講座の受講も視野に入れる
- 実際に留学した先輩の体験談を知る等して、留学が漠然とした関心から、挑戦可能な目標へと変化する

必要に応じて対面サポートを利用する

- より専門性の高いアドバイスが必要な場合や学内手続きが必要なものについて、AIアドバイザーが専用窓口へ案内する
- AIアドバイザーとの事前の壁打ち内容を確認し、誤りがないことを確かめたうえで、専門性の高いスタッフによる丁寧な個別アドバイスやサポートを受けることで、安心して準備を進められる。
- 信頼と共感に基づく対人ならではのアドバイスや励ましにより、挑戦を後押しされる

②「留学」での学生体験 / AIアドバイザーで変わる体験の例

AIアドバイザーで変わる体験の例
： ③「就職活動」での学生体験



就職・進路について考え始める

- 就職活動や進路の話題が自分の周りで増え、そろそろ動き出さなくてはと思い始めるが、何から手をつけて良いかわからない
- これまでの学びや自分の強み・弱みを踏まえても、どのような業種・業界・働き方が合っているのかわからず、自己分析や業界研究にいまいち踏み出せない

AIアドバイザーに相談する

- AIアドバイザーに相談し、就職活動の基本的な進め方に関する理解を深め、学内の説明会や就活イベントを知り、活動スケジュールを固める
- これまでの学修や課外活動、ボランティアやアルバイトでの経験等を振り返りながら、自分の強みや弱み、軸となる価値観等を整理し言語化する
- 自分の価値観・関心・特性に基づいた業界・業種・職種に焦点を当てた企業調査を行う

必要に応じて対面サポートを利用する

- より専門性の高いアドバイスが受けられるよう学内サポートプログラムについて、AIアドバイザーが利用を促す
- より多角的な自己分析や業界研究、エントリーシートの作成や面接対策等の具体的な選考準備について、専門性の高いキャリアアドバイザーから、丁寧な個別面談を受けられる
- 信頼と共感に基づく対人ならではのアドバイスや励ましにより、挑戦を後押しされる

③「就職活動」での学生体験 / AIアドバイザーで変わる体験の例